

# CONTENTS

- 国際大・女子大入学宣誓式式辞 (6面)
- 記念誌を希望者にプレゼント (6面)

# GLOBAL MIND

グローバルマインド

発行 / (学)大阪国際学園広報室  
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57  
☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961  
Eメール:koho@hq.oiu.ac.jp

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 072(858)1616(代)	大阪国際女子大学(OIUW) 06(6902)0791(代)	大阪国際女子短期大学(OICW) 06(6902)0791(代)
大阪国際滝井高等学校(OIWH) 06(6996)5691(代)	大阪国際大和田高等学校(OIOH) 06(6904)1118(代)	大阪国際大和田幼稚園(OIOK) 06(6902)7329(代)
大阪国際大和田中学校(OIOJ) 06(6904)1118(代)		

### ◆ 独白 ◆

大阪国際学園 理事長 奥田吾朗  
人間を育てるための一貫教育

今年も新入学の季節を迎えた。本学も幼稚園から大学院まで約2400名の新生を迎え入れ、キャンパスは活気に充ちている。毎年、理事長としてそれぞれの入学式に参加して、強く感じることは「真の人間教育は年齢・年代によらず、輪切りにすることはできない」という点である。もちろん個々の生徒・学生にとって基礎的学力や専門知識が必要であることは間違いない。他方で、次々に生み出される科学技術の成果やグローバル化しつつある市場原理にたすりに振り回されないために、健全な常識を育むための人間教育がこれまでに以上に重要とされている。こうしたなか、今日の教育環境は幼稚園から大学へとそれぞれの学校単位でカリキュラムや学習内容が分断されている。これは学力や専門知識の習得には適しているかも知れないが、人間教育そのものは学校単位で分断することはできないはずである。

私は、これからの一貫教育は一人一人の生徒・学生の成長過程全般を鳥瞰したうえで最適なプログラムを提供していくことが重要だと考える。そのためには、本学だけでなく、地域のなかで志を同じくする他の教育機関とも連携をはかり、新しい一貫教育のモデルケースをつくりあげていきたい。

## 新世紀初の入学式に総勢2391名

野外ステージを埋めつくし(国際大)



桜の花咲くなか、学園設置の各校で入学(宣誓)式が次々に挙行され、新世紀初の新生入生の栄誉をにぎったのは、総勢2391名。学園に新風を吹き込んでほしいものだ。

国際大の入学宣誓式は4月4日に本学野外ステージで行われた。当日は晴れやかなが、花冷えだったが、真新しいスーツに身を包んだ新生や保護者らで約800席ある円形ステージもぎっしり埋め尽くされた。大学院経営情報学研究所博士課程1名・修士7名、大学院総合社会科学専攻1名、学専攻8名・国際政経専攻1名、経営情報学部349名、同学部編入学生15名、法政経学部2

### 国際大 新学長に金子教授、幼稚園長に吉備氏



金子敦郎 新学長

略歴 昭和10年4月13日生まれ。東京大学文学部卒。共同通信社国際局長、常務理事等を歴任。平成9年4月国際大教授に就任。12年4月から国際関係研究所長を併任。



吉備千枝 新園長

略歴 昭和11年3月23日生まれ。大阪学芸大学卒。大阪市立小学校教諭、同校長等を歴任。平成8年より大橋学園豊里幼稚園理事及び園長。

国際大 太田忠学学長は3月31日付で病氣辞任することになり、これに伴い3月1日の臨時理事会において、次期学長に国際大法政経学部教授・国際関係研究所長 金子敦郎教授が選任された。任期は13年4月1日から4年間。

また大和田幼稚園 久保和男園長は任期満了により3月31日付で退任。昨年12月22日の理事会において、新任の園長として吉備千枝氏が選任された。任期は13年4月1日から15年3月31日。

86名、同学部編入学生2名、留学生別科83名の計752名が晴れの日を迎えた。

金子敦郎新学長の式辞などにつき、枚方市の中司 宏市長から来賓祝辞をいただいた。そして入学代表として、経営情報学部 河上健太さんと、法政経学部 小野公美子さんが宣誓を行い、大学生活にむけての決意を述べた。式後さっそく、保護者向けに懇談会や懇親会、新生入生に対して学力テストや学友会による歓迎会が催されるなど新たなスタートへの準備に余念がなかった。

女子大・短大の入学宣誓式は4月3日に奥田メモリアルホールで行われた。悪天候にも関わらず多くの保護者が参加された。まず、女子大の入学宣誓式が行われ、社会コミュニケーション学科92名、国際コミュニケーション学科109名、人間健康科学科79名、スポーツ行動学科116名、編入学生47名が入学。スポーツ行動学科の森嶋祐衣さんと留学生の鄭 媛さんが代表で宣誓を行った。



ス2年次生の5名による「夢が咲く木」の紹介で幕を閉じた。また、新生オリエンテーションの4月4日には奥田メモリアルホールで、守口警察署の担当者らを講師に招いて「防犯講習会」が行われ、新生入生は自衛策の大切さを学んだ。

滝井高校、大和田中・高校でも4月9日に入学式が行われた。滝井高校は10時から体育館で行われ253名(アカデミックコース176名、グローバルコース38名、エクセレントコース39名)が入学、代表の中塚純子さんが宣誓して閉式。大和田中・高校は14時から奥田メモリアルホールで行い、中学35名、英数コース13名、国際コース22名、高校227名(英数コース74名、国際教養コース153名)が入学、高校代表の四之宮由紀さん、中学代表の齋内美樹さんが誓いの言葉を述べた。新生入生は夢と希望に満ちあふれた気持ちで退場した。

大和田幼稚園の入園式は4月6日。汗ばむほどの好天に恵まれたなか83名の園児が元気に入園した。保護者らの拍手に迎えられて入場したが、泣叫ぶ子もあつた。吉備千枝新園長が園児たちに対し「元気な子、ハキハキした子、みんなと仲良くする子になるように」と語りかけた。

### 日本初、プロでのシンクロチームのひとり



足立万里香さん (女子大スポーツ行動学科2回生)

「今は自分が本当にやりたかった、競技ではなくみせるシンクロができると話す女子大スポーツ行動学科2回生の足立万里香さん。小学校2年生の夏にうけた3日間のシンクロ講習会をきっかけに、以後その魅力にとりつかれ続け、平成11年には、スイス・チューリッヒで開催された「シンクロスイスオープン大会」で全日本オリンピック候補Bチームの一員として出場し、チーム競技2位という好成績をおさめた。

そして現在は、プロとして華麗な演技を披露している。プロとして日本で初めてのシンクロロナイスドスイミングチーム「アクアドリーム」(大阪府福島区)に所属。このチームはシンクロの素晴らしさを多くの人に伝えるという思いと、アマチュア競技を引退した選手たちの熱い思いから12年12月に結成された。メンバーには、シドニーオリンピック銀メダリストも加わっている。

「自分を一番きれいにみせることのできる体型をみんな知っているし、そのための自己管理が大切なんです」と話す言葉の中に、プロへの意識が感じられる。今は学業とシンクロの両立が目標という。



入園式後、サクラ満開の園庭で記念写真

### 滝井高に国際科、大和田中・高 英数コースを共学化

奥田吾朗理事長を室長とする「学園改革準備室」は従来、主に大学の21世紀にあるべき姿を探り、具体化に向けて諸準備を行っていたが、昨年から、中等教育の改革にも一歩踏み出した。構想段階だった滝井高校に国際科を設置▽大和田中・高校の男女共学化―を検討するため学園改革準備室内に10月31日付で滝井高校国際科設置検討作業部会(部長 福井昭典校長▽大和田中・高校共学化検討作業部会 同奥田三郎校長)を設置した。両校の計画実施は、いずれも平成14年度から。滝井高校は、国際科によって普通科との2学科制となる。これにより国際理解教育と実学・実務教育を目指す。そこで1月31日付で、大阪府へ「国際科の設置及び収容定員に係る学則変更認可申請書」を提出した。

一方、大和田中・高校は一層の進学校を目指し、女子校から英数コースのみ男女共学化し、中高6年教育で実績の向上を目指す。これらについて2月23日、1、2年生に向けて説明するとともに、保護者あて文書も配布し、理解と協力を求めた。

**中学・高校・幼稚園 ホームページ公開!**  
おおいに活用を

滝井高校 <http://www.takii-h.oiu.ed.jp>  
大和田中・高校 <http://www.owada-h.oiu.ed.jp>  
大和田幼稚園 <http://www.owada-k.oiu.ed.jp>



### 自らの責任で、メリハリの効いた 学生生活を

大阪国際大学 学長 金子敦郎

新入生のみなさん、大学生活が始まりました。この新たな「節目」が、百年に一度の大きな節目に重なることを、単なる偶然と思つてはいけません。私は考えます。人生にとって大切な「節目」にして欲しいと思います。

二十世紀、人類は科学技術でめざましい進歩を果たしました。経済も大きく発展し、多くの人々は便利で豊かな生活を享受することができるようになりました。しかし、人類がより幸せになったということではありませんでした。

繰り返された愚かな戦争や紛争によって、何千万、何億という人々が犠牲になりました。もっぱら利益と成長を追い求める経済発展のなかで、

貧富の格差は止めどなく拡大してしまいました。生活環境は汚染され、破壊され、人類の生存がかかる資源は枯渇に瀕し、無限の包容力を持つと思われた地球そのものも、いよいよ破滅の危機にさらされています。

人類は、こうした結果を生み出した二十世紀の生き方や価値観を切り替えて、よりよい世界を造り上げることを目指さなければいけません。

かつて日本は、政治は三流、経済は一流といわれていました。その経済も長期不況が続いています。日本の発展は優秀な官僚が支えているからだと、いわれたその官僚組織も権力におぼれ、スキャンダルにまみれています。国家体制の「制度疲労」です。

二十世紀の日本の再生を担うのは、政党や政府や大企業ではなく、一人一人の市民です。みなさんがその市民として、社会の中核となり、リーダーとなれるよう、本学で国際的な視野や思考、技術、技能を身につけてください。世界を知ることによって、日本をよりよくすることもできるのです。

大学とは教えられるのではなく、自ら学ぶところです。いかに学び、いかに遊ぶか、自分の責任で、メリハリの効いた生活のリズムをつくって欲しいと思います。  
(4月4日の国際大入学宣誓式での学長式辞要旨)



### 入学おめでとう (学長式辞)

### 個人の能力を高め、 協働を身につける学生生活を

大阪国際女子大学・短期大学 学長 奥田吾朗

新入生の皆さん、入学おめでとうとございます。本日ここに、記念すべき21世紀最初の入学生として皆さんをお迎えできることを、私たち教職員はとて嬉しく感じています。

また、「息女をこまごま立派にお育ていただきました保護者の皆さま方に敬意を表するとともに、お祝い申し上げます。

さて、皆さんはこれから本学で学ばれるわけですが、まず最初に、本学は極めて国際性豊かな学園であるという点を強調しておきたいと思

います。本学は世界中に多くの提携校をもっており、毎年、百数十人も海外の大学で学ぶチャンスを手に入れます。一方で、海外の大学から本学に学びに来る学生も年々増加しています。本日の入学式にも参加して

次に、大学時代にぜひ身につけていただきたい点について簡単に触れておきます。やがて皆さんは大学を卒業され、「社会人」となられ、文字どおり社会の一員として活躍されることとなります。では、われわれが社会で生きていくために最も必要とされる素養とは何でしょうか。私はふたつあるのではないかと考えています。ひとつは、個人としての能力を高めることです。そのためには、これからの時代に必要とされる知識を身につけることが大切です。

個人がチームのメンバーとして共に協力して、能力、いわば「協働」の能力を身につけることです。われわれは決して一人では生きていきませんし、多くの仕事は多数の人間による協働作業のためのもので、いかに過言ではありません。どれだけ技術が発達したとしても人間同士のコミュニケーションは欠かすことができません。

そのため、皆さんにはクラブ活動への積極的な参加をおすすめします。もちろん体育系でも文化系でも構いません。高校時代にクラブ活動をされた方はよくお分かりのことと思いますが、大学時代にもチームの一員

として何かを成し遂げる達成感を感じていただきたいと切望しています。  
ところで、皆さんご存知のように、平成14年4月に大阪国際女子大学は男女共学化し、枚方の大阪国際大学と統合されます。また、大阪国際女子短期大学は名称変更し、大阪国際大学短期大学部となります。その結果新生大阪国際大学は経営情報学部、法政経済学部、人間科学部の3学部と短期大学部の家政科、幼児教育科、国際文化学科からなる約5000名(定員)を擁する総合大学として生まれ変わります。

学生間の交流もこれまで以上に盛んになることが期待されています。私たち教職員もこれまで以上に皆さんが有意義な学生生活を送れるよう最善を尽くしていきますので、本日お話しした内容を参考に、実りある大学時代を過ごしてください。  
ご入学、誠にありがとうございます。  
(4月3日の女子大入学宣誓式での学長式辞要旨)

### 学校マスケット商標登録完了、積極的な活用を期待

学園創立70周年記念事業のひとつとして公募され、決定した設置各校の全てのマスケットの商標登録手続きが完了した。これにより、今後10年間、当該マスケットの図案と愛称について商標権が存続することになった。この商標権は、10年後に更新登録することにより、さらに延長されることも可能。

今回の商標登録は、各マスケットが教育サービスに活用されることに加え、キーホルダー、文具、衣類、人形等へ商品化(販売も可能)されることを前提としたものであり、学園創立70周年記念事業・記念式典等行事実行委員会(当時)では、既に各マスケットのシールを作成、各校へ配布した。今後、各マスケットが設置各校及び学園の活性化につながるよう、各校の積極的な活用を期待したい。  
(法人本部事務局 生山隆浩)



### 門真市・ルミエール音楽サロンは毎回完売

「より音楽を日常的に楽しむためには…」

「オーケストラは高尚だ、クラシックはちょっと」と敷いの高さを感じている方は、大阪国際女子短期大学幼児教育科の朝倉洋教授と接してみれば、現在、朝倉教授は音楽を通じて幅広い活動を行っている。指揮、演奏活動のほか、幼稚園児や小学生、市民に情熱的に音楽のおもしろさを語り、その魅力的な人柄とともに多様な音楽ファンの輪が日々広まっている。

### ひと

多彩な活動で音楽の魅力伝えつづける  
朝倉洋教授(短大幼児教育科)



なかでも大学近くの門真市・ルミエールホールで行われている「ルミエール音楽サロン」は、1996年から始めて今度で10回目を迎えるが、毎回好評でチケットも完売状態。「市民に音楽を楽しんでも

らうにはどのようにすればいいのか」の視点で、以前から門真市内で市民と音楽文化について考える活動をしており、様々な演奏会や講演会、フォーラムなどを実施していたことが同サロン誕生(門

前半は音楽演奏、後半はTea Time。お茶を飲みながらの出演者紹介や楽器紹介など。まさに「音楽サロン」楽器に触れたり、質問コーナーでは、演奏家の生の声を聴くこともできる。演奏にならうなだけで」といつつ、このコンサートでは主に指揮や解説を行い、そのやさしくわかりやすい解説が好評。  
朝倉教授が音楽の魅力にひかれたのは、小学生の頃にベートーヴェンの「第9」を聴き、そして解説を読んで、「この音楽にはこんなすこい意味もめらられていたのか」とその奥深さに感動したという。それが今の音楽活動につながっている。「感覚で聞くことも必要、だけど言葉によってもなぜその音楽がすこいのか理解することも必要だ」という。  
また、他にも指揮や演奏者としてだけでなく、大学の地元守口市内の小学校で音楽の特別非常勤講師や吹奏楽コンタクトの審査員などもこなす。「幼稚園の園児からお年寄りまで、それぞれ老若男女を問わず情熱と工夫をこらして講義する」がモットー。講義では、音楽の歴史的な発展と内面の両方の部分から音楽の必要性を教えている。そして今後「もっともっと音楽を日常的に楽しめるような仕組みづくり」と思案している。

### 女子大社会コミの高井さん、 今宮戎神社の「福娘」で活躍 4501名の難関をくぐりぬけ



大阪府今宮戎神社の十日戎で参拝者に福を授ける「福娘」。アナウンサーの登壇門とも言われ、今年も4501名の応募者の中から最終50名に絞られるという厳しい競争率だったが、女子大社会コミユニバーシティ3年生の高井優子さんが見事難関をくぐりぬけた。「きれいなお人、深瀬とした人はかりで、自分が選ばれるなんて信じられなくて、びっぴりした顔がテレビで流

されてしまいました」と、昨年11月26日にABCホールでの最終審査会を振り返る高井さん。選ばれてからはお披露目のテレビ番組収録やマスコミ、役所などへの挨拶まわりなどで大忙し。また十日戎(1月9日~11日)の前にも神社で様々な行事があり、早朝4時半に起きて着付けに行く毎日だった。「当日は休憩が15分しかなくて12時間立ちっぱなし。でも福を授けられる人たちの前で疲れた顔は見せられず、みんなあんなに笑っていられたことは初めて。笑顔で接していると相手の反応も和らいで、人とのコミュニケーションの勉強にもなった。鍛えられました」と笑顔で語っていた。

子育て相談やってます  
本紙に記載の学年、肩書き等はすべて当時のものです。ご了承下さい。住所などに変更がありましたら、お手数ですが、広報室までご連絡下さい。  
また、本紙に関するご意見、ご感想などをお待ちいたしております。電子メールも活用下さい。

70周年記念誌プレゼント(マスケットシール付)  
マスケットシールのおまけ付きです。なお、キャラクターの内容ははこちらにお任せ下さい。また応募多数の場合は受付を終了させていただきますがご了承下さい。  
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57  
大阪国際学園広報室記念誌係  
FAX 06-6902-8961 (直)  
Email: koho@hoaiu.ac.jp